

ニュース いちしNEWS

一志総合支所
地域振興課 発行
電話293-3000
FAX293-5544
平成28年3月16日
第29号

出初式



1月10日(日)、津市香良洲町の香良洲グラウンドで、津市消防団が出初式を行いました。

そして、同日午後、一志方面団は、会場を一志庁舎駐車場と一志農村環境改善センターに移し、新春訓練と表彰伝達式を行いました。

今年は合併10周年を記念して、例年行われる通常点検・機械器具点検等の他に、戦前に白山町で起きた大火で、近隣の消防団(当時は消防組)が力を合わせて消火に当たり、被害を最小限にとどめたという歴史を、当時使われていたものと同型の手押し式ポンプを使い再現しました。

晴れてはいましたが、時折強い風が吹き、実際よりもずいぶん寒く感じられる天気の下、法被と鉢巻で身を固めた団員たちは力を合わせて、木製の桶で水を運び「ワッショイ!ワッショイ!」の掛け声とともにポンプを押し、手際よく放水しました。



当時のポンプの価格は345円。現在の価格にすると、なんと1400万円に相当するそうです。



人権意識の向上に向けて ～ 人権啓発活動～

国際連合は、世界人権宣言が採択された日である12月10日を「人権デー」と定め、全ての加盟国及び関係機関が、この日を祝賀する日として、人権活動を推進するための諸行事を行うよう、要請する決議を採択しました。

日本においては、毎年12月10日を最終日とする1週間を「人権週間」と定めており、その期間中、全国各地においてシンポジウム、講演会、座談会、映画会等の開催のほか、テレビ・ラジオなど各種のマスメディアを利用した集中的な啓発活動が行われました。

一志地域でも、12月8日(火)、近鉄川合高岡駅前で、地域の人権擁護委員や人権・同和教育研究協議会一志支部長が啓発物品を配布し、少しでも多くの方に人権に関して意識を高めていただけるよう呼びかけました。

この日は大変寒い日でしたが、幸い晴天となり、駅を利用しているたくさんの方に立ち止まっていただきました。人権とは「人が生まれながらにもっている人間らしく生きる権利」であり、誰にも侵すことのできない永久の権利です。しかしながら私たちの周りでは、差別や偏見が依然として存在しています。一人ひとりが人権意識を高め、人権が尊重されるまちが一日も早く実現するといいですね。

皆さんも機会があれば、「思いやりの心」や「かけがえのない命」について、もう1度考えてみてはいかがでしょうか。



自分でつくとおいしいね！ ～わくわく料理教室～

1月26日（火）、28日（木）両日に分けて、高岡幼稚園と川合幼稚園の年長園児、合わせて60人が五平餅づくり体験をしました。

このイベントは、一志町地産地消子どもの元気づくり協議会の主催で「わくわく料理教室」と題して行うもので、毎年この時期の恒例の行事となっています。

この日を待ちかねた園児たちは、「食」にはたくさんの人と手間がかかっているという話を聞いた後、一志でとれた米と、一志でとれた大豆からつくった味噌を使い、作り方を一つ一つ教わりながら、自分たちで食べる五平餅を作っていました。

炊き立ての一志米をすりこぎで潰し、小判型に丸めて串に付け、焼き台に持って行くと、まもなく味噌ダレを付けてこんがり焼きあがった五平餅の完成です。

どうして食べる前に「いただきます」と言うの？ どうして「いただきます」を言う時に、手を合わすの・・・？ 協議会委員から「いのち」と「食」のつながりについての話を聞いた園児たちは、いつも以上に大きな声で「いただきます」を言って、アツアツの五平餅を、笑顔いっぱい頬張っていました。



いただきますの時間が待ちきれない！



エプロン・マスクを着けると、気分はすっかり料理人。



津市身障者福祉連合会 一志支部

身障者会員募集のご案内

一志支部では、身体障害者手帳をお持ちの皆さんの入会を募っています。

今回は、20歳以上75歳以下の男女会員の募集で、是非私たちと一緒にスポーツやレクリエーションを楽しみ親睦を深めましょう。特に女性の皆さんのご応募は大歓迎です。（年会費1,000円）

本年度実施しましたスポーツ&レクリエーションの一部をご紹介します。

スポーツ、フライング ディスク大会



カラオケ交流会



リフトバスで、一日社会見学(メロン狩り)



関心のある方は事務局へお問い合わせください、後日地区担当者が詳しい説明をさせていただきます。

津市身障者福祉連合会一志支部事務局（津市社会福祉協議会一志支部内）

電話 059-295-0066

平成 28 年度 年間行事のご案内

一志児童館 (一志町高野160番地699) (電話) 059-293-0936
川合児童館 (一志町八太1008番地1) (電話) 059-293-3711

一志地域の児童館は、0歳から18歳未満までの児童のための福祉施設です。子どもたちに遊び場と遊びを提供し、遊びを通して児童が心身ともに健やかに成長するお手伝いをするところです。

月	一志児童館の取り組み	川合児童館の取り組み
4	手芸・図工・卓球・一輪車遊びなど	こいのぼりの壁掛の制作 (小学生以上)
5	こいのぼりの制作	時間割り表の制作 (小学生以上)
6	手芸・図工・卓球・一輪車遊びなど	七夕飾りの制作
7	いきいきサロンとの交流会：夏の季節の小物づくり	ぬり絵など
8	福寿草との交流会：こけ玉の制作	暑中見舞い、残暑見舞いを書く
9	手芸・図工・卓球・一輪車遊びなど	ぬり絵など
10	手芸・図工・卓球・一輪車遊びなど	ハロウィンのおばけ飾りの制作 (小学生以上)
11	手芸・図工・卓球・一輪車遊びなど	公民館祭参加：カレンダーの制作
12	クリスマスリース等の制作	台所スポンジを使ってケーキの制作 (4年生以上)
1	折紙で作る壁掛 (干支) の制作	干支 (とり) の絵馬の制作 (小学生以上)
2	いきいきサロンとの交流会：ひな人形づくり	ひな人形の制作 (4年生以上)
3	手芸・図工・卓球・一輪車遊びなど	つるし飾りの制作 (4年生以上)

- ※ 上記の取り組み以外にも、卓球、一輪車、バドミントン (川合児童館のみ) などがあります。
- ※ 開館時間 10:00~12:00、13:00~17:00まで。(日・祝日・年末年始は休館です)
- ※ 詳しくは各児童館へお問い合わせください。



自分の限界に挑め！ ～かわいっ子クラブ活動記録～



12月10日(木)、川合文化会館で「かわいっ子低学年・高学年クラブ」が開催されました。

この日の活動は、フランス製の積み木「カブラ」を使った体験活動でした。

低学年13名、高学年10名に一志東小学校の職員を加えた参加者たちが挑んだのは、個人とグループでそれぞれカブラをできるだけ高く積み上げることと、まるで巨大な滝のように積み木を積み上げる「ナイアガラの滝」の3つのプログラムでした。

高く高く積み上げた積み木は、自分たちの身長を軽々と超え、ついには椅子に上っても届かないほどになりました。中には、子どもたちがせっかく積み上げたタワーが途中で崩れだしてしまい、思わず悲鳴を上げる場面も・・・。

最後は全員で「ナイアガラの滝」に挑みました。

滝を模して、高く長く積み上げた積み木が、少しずつ崩れていく様はまさに滝のような迫力があり、子供たちは大歓声を上げていました。

あっ崩れる!!
せっかく積み上げたのに・・・



もうすぐ開校します ～ 一志学園高等学校 ～

旧大井小学校校舎の3階部分を利用して「一志学園高等学校」がもうすぐ開校します。

旧大井小学校は明治41年に開校し、たくさんの児童とともに百余年の歴史を刻みましたが、児童数の減少により、平成25年度いっぱいでは閉校し、小学校としての歴史に幕を閉じました。閉校後の校舎は、施設の有効活用として、津市の管理のもと、利用者が整備し大切に使用され、地域住民の交流の場となっています。

そんな旧校舎の利用者として、春からまた一つ仲間が加わることになります。

今回新たに旧校舎を利用することになるのは、学校法人玉村学園が設置・運営する通信制高校「一志学園高等学校」で、利用に係る調印式が12月16日（水）、津市役所で行われました。

玉村学園の玉村代表は、調印式で「地域の人たちと触れ合いながら、生徒の成長を実現できる環境にしたい」と語り、前葉津市長も「地域で校舎を大切に引き継いでいきたいという思いに応えるものだ」と歓迎しました。

一志学園高等学校の開校で、静かだった学校から生徒たちの声が聞こえるようになり、地元との交流促進や、地域活性化への貢献にも期待がかかります。
一志学園高等学校は、4月1日に開校予定です。



おじいちゃん・おばあちゃんの技に挑戦！ ～昔の遊び体験～

2月4日（木）、一志西小学校の1年生児童たちが、同校体育館で、敬老会の方々を“遊びの先生”として招いて、「昔の遊び体験」をしました。

この日の遊びは、竹とんぼ・お手玉・あやとり・駒回し・けん玉・おはじき・かるた・ゴムとび・めんこ・ぼうすめくりの10種類で、数人の班に分かれて、10分くらいずつ全ての遊びを体験していききました。

子どもたちにはどれも簡単そうに見えたのか、次々と挑戦してみますが、なかなかうまくいきません。そこで遊びの先生の出番です。優しく丁寧に教えてもらって、コツをつかんだ子供たちは、どんどん上手になっていききました。

夢中になって遊んでいるうちに、時間はあっという間に過ぎていきました。

少し難しい遊びもあったけれど、おじいちゃん、おばあちゃんたちと遊んだことは、とても良い思い出になったようです。



思いやる 心が築く 人権文化

人権標語より